

一般質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年 9月 5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 15 番 高田 康子

質問事項 1	病児、病後児保育と少子化問題について
具体的内容	三島市には病児保育2か所、病後児保育2か所の計4か所の病児・病後児保育があるのはとても喜ばしい事ですが、色々なお話を聞く中で使いにくいというお話が聞こえてきました。三島市のみならず、全国で少子化が問題視されている中、今年の7/31までの出生数は292人、残り5か月をもってしても昨年の541人、10年ほど前の平成26年の842人から大幅減となり、少子化が加速しているように感じます。 今は、女性の社会進出が一般化され、総合職などで働いている方も多中、結婚出産になかなか踏み込めない事情の一つに、病児保育があるのではないかと推測しました。 ひとり親にとっては死活問題で働いて育児をするのは自分だけ、子どもが急な病気になって仕事を休みがちになると、それが原因で仕事に穴をあけてしまうことに誰しもが負い目を覚えます。少子化対策の一員として女性が働きやすい社会にするためには病児・病後児保育は重要な役割を担っているのではないのでしょうか。 三島市では病児・病後児保育と少子化問題についてどのように考えているのかを伺う。 1 三島市の病児・病後児保育の現状は。また、使用するための手続や、市民への周知方法は。 2 申し込み方法を簡素化し使いやすくすること、急な病児保育に当日でも対応できるように提案するが可能か。また、実際に病児保育が足りているのか。 3 三島市では病児保育を今後増やす予定はあるのか。小児科以外の事業所でも病児保育を許可する可能性はあるか。
質問事項 2	市民サービスの向上と職員の働き方改革について
具体的内容	近隣市町の庁舎に出向くと職員の対応がいろいろある中、三島市の対応はとても丁寧という声を聴いております。しかし、仕事量の割合が多いのか対応するスピードが遅れたり、担当窓口に来ても気が付くスピードが遅れ、市民の方々が「ここでいいのか」と迷っていることがあると感じます。 ここで言いたいのは「早く対応して」「気が付いて」ということでは全くなく、職員の方々は常日頃から誠意、責任をもって真摯に仕事と向き合っていますが、今ある仕事の手いっばいで職員に余裕がなく、新たにやらなければいけないこと、継続しないといけないことなどの振り分けができていないように感じます。そもそも見直す時間もないのではないのでしょうか。職員に余裕がなければ十分な市民サービスに繋がらず、それは三島市にとってもいいことではありません。そこでお聞きいたします。 1 職員の方々の業務のあり方や、職員一人一人の仕事量に対して適正なのか、また、それについてどのように考えているか。 2 業務の棚卸をより一層進める可能性はあるのか、進めるとしたらどのように進めるのか、職員にその時間はあるのか。 3 職員の方々が余裕をもって仕事ができる体制にするにはどうしたらいいのか。
質問事項 3	カーブミラーの設置状況確認作業について
具体的内容	T字路などに設置してある二面鏡のカーブミラーの角度が正しくないため、対向車等が見えずに、あわや事故という場面を見かけたことがある。市内のカーブミラーの状況を伺う。 1 カーブミラーの設置状況と設置した後の確認、ミラーの不具合はどこに知らせるのか、その際の対応方法はどのようなものか。